

# Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

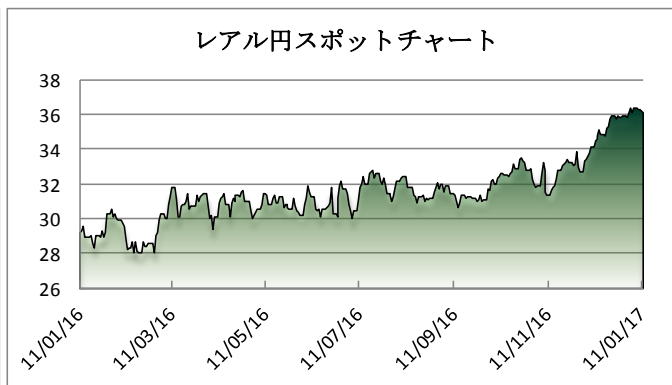
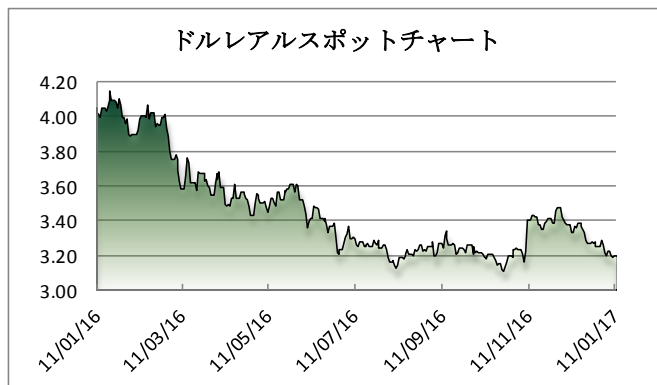
昨日のドルリアルスポット相場は、マーケット引け後に金融政策委員会 (COPOM) を控える中、トランプ氏の記者会見に右往左往する展開となり、最終的に前日対比ほぼ変わらずの水準である3.19台半ばで取引を終えた。同氏は記者会見において、①国外移転の米企業には大規模な国境税を課す(移転先はいくらでもあり、米国内であれば構わない)、②メキシコ国境の壁については、費用はメキシコが後で払い戻す形になる(メキシコとの合意を1年半待つようなことはせず、おそらくそこまで合意を成立させることは可能)、と発言。貿易不均衡相手国として、中国に加えて日本も並列で取りあげられている。

ブラジル中央銀行は昨日開催したCOPOMにおいて、政策金利Selicを市場予想を上回る75bps引き下げ、13.00%にすると公表した(全会一致)。マーケットは50bpsの利下げに傾いていたため、この結果はややサプライズ。政策決定後の声明文では、インフレ率見通しの参照シナリオに基づく、年末予想が前年比+4.0%、18年末を同+3.40%としており、昨年12月22日に公表した四半期インフレ報告時点の予想(17年+4.40%、18年+3.60%)からそれぞれ引き下げた。加えて、①0.50%の利下げも検討したものの、インフレ期待が安定していることから採用を見送った、②金融政策にとって重要な期間が2017年から2018年にシフトしつつある、の2点を指摘している。

## マーケットデータ

Indicator		Unit	1月10日	1月11日	前日比	12月9日	1ヶ月前比
リアル	対ドル	BRL	3.1941	3.1970	+0.0029	3.3802	-0.1832
	対円	JPY	36.25	36.10	-0.15	34.11	+1.99
	対ユーロ	BRL	3.3732	3.3816	+0.0084	3.5669	-0.1853
円	対ドル	JPY	115.77	115.41	-0.36	115.32	+0.09
	対ユーロ	JPY	122.19	122.14	-0.05	121.76	+0.38
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	62,132	62,446	+314	60,501	+1,945
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	262.0	255.8	-6.2	295.6	-39.8
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11.20	11.27	+0.07	11.88	-0.61
DI Future Apr17 (金利先物)		%	12.80	12.81	+0.00	13.12	-0.31
3 Months US Dollar Libor		%	1.018	1.018	+0.000	0.957	+0.061
CRB Index (国際商品指数)		Index	191.1	192.3	+1.2	192.0	+0.3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。